

令和6年度第2回三重県脱炭素社会推進会議概要

- 1 開催日時：令和7年1月28日（火）13:50～14:00
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 三重県地球温暖化対策総合計画推進委員会委員からの意見について （資料1に基づき説明）

●窪田地球温暖化対策課長（資料1に基づき説明）

- ・令和6年9月4日に開催の三重県地球温暖化対策総合計画推進委員会において、委員より意見をいただいた。意見の多くは情報発信に関するものであった。
- ・住宅メーカー等と連携した取組の必要性及び家庭部門における取組に関する意見については、既に取り組んでいる事項であり、県ではみえデコ活！ポータルサイトというホームページを新たに開設している他、2月11日には工務店、家電販売店、自動車販売店、金融機関と連携した「みえデコ活！ワンステップフェア」の開催を予定している。
- ・今年初めて桑名市で気温が40度を超え、地球温暖化に関心が無かった方も危機感を持ったと思われる。これをきっかけと捉え、県民にしっかり伝えてほしいという意見もいただいている。
- ・県庁の建築物において、窓の断熱性能を上げる方法を検討してほしいという意見については、四日市庁舎において二重サッシへの改修等の取組を行っている。また、テレワークやオンライン会議等の活用についても既に取り組んでいる事項である。
- ・再エネ電力の調達について、国立環境研究所では電力調達を再生可能エネルギー由来の電力に変えており、CO₂の削減効果が大きいいため県庁で取り組んでみてはどうかという意見をいただいた。

議題2 各部局等の令和6年度取組状況及び令和7年度取組予定について

(資料2、資料3に基づき説明)

●窪田地球温暖化対策課長(資料2、資料3に基づき説明)

- ・令和6年度取組状況について、各部局等においてLED照明化、公用車の電動車化、省エネ機器への更新が計画的に進められている。
- ・環境生活部所管の総合博物館では太陽光発電設備約150kWを導入、人権センターにはソーラーカーポートとEVの導入を進めている。
- ・警察本部ではZEB Ready相当の交番の建て替えを進めている。
- ・令和7年度においても同規模程度の取組が計画されている。

議題3 各部局等の取組による温室効果ガス削減事例について(資料4に基づき説明)

●窪田地球温暖化対策課長(資料4に基づき説明)

- ・警察本部では、所管施設113施設に約3万2000本のLED照明を導入し、751t-CO₂/年の削減効果が出ている。これは、警察本部の2013年度(基準年度)における温室効果ガス排出量の約6.5%に相当する。
- ・伊賀庁舎では、ソーラーカーポート及びEV車3台を導入し、運行に係るゼロカーボンドライブを達成した。
- ・企業庁、北勢水道事務所管内の千本松原取水所、山村浄水場、北勢水道事務所では受変電設備を省エネタイプのものに更新した。南勢水道事務所では、凝縮沈でん池の急速攪拌機、緩速攪拌機24台を省エネ機器タイプに更新した。
- ・伊賀庁舎では太陽光パネル173kW、パワーコンディショナ134kW及び、蓄電池30kWhの設備を導入し、46.4t-CO₂/年の削減効果が出ている。
- ・四日市庁舎では劣化した窓の更新に合わせ二層複層ガラスの窓を導入した。

☆質疑（質疑等意見なし）

●佐藤環境共生局長

- ・最後に知事から一言お願いします。

☆一見知事

- ・短期的にみても、中期的にみてもCO₂の排出量を減らしていかなければならな
いため、各部局には引き続き脱炭素社会の実現に向け協力をお願いします。
- ・委員からいただいた意見を参考にし、2030年度の52%削減に向け取り組んで
いただきたい。